



篠原小学校「学校だより」

令和6年12月4日

しのささっ子



心と心が響き合った「にこにこ音楽集会」

11月27日(水)に「にこにこ音楽集会」を実施しました。子供たちは保護者の方に見ていただくことを、とても楽しみにしていました。多くの方にお越しいただき、ありがとうございました。

前回の学校だより(11月18日配付)でお伝えしたように、各学年当日まで、主体性を育む取り組みを意識して練習に励んできました。また、日々の音楽の授業では、自分や学年のめあてに向かって練習に取り組みました。

1年生は、実行委員を中心にめあてを決め、それに向かってみんなで取り組みました。「やまびこごっこ」と「LET'S GO! いいことあるさ」では、振りを付けて楽しく歌いました。「はる なつ あき ふゆ」の替え歌では、自分たちの成長、6年生や家族への思いを考え、歌いました。「きらきらぼし」の合奏では、みんなの心をつなげて演奏しました。



2年生は、実行委員のアイディアをもとに、耳やしっぽを付けて森の音楽会を行いました。学級ごとに「アイアイ」「たぬきのたいこ」「小ぎつね」を、様々な楽器を使用し、他の楽器の音をよく聴いて演奏しました。最後に、学年全体で「勇気100パーセント」を元気よく、心をつなげて歌うことができました。

3年生は、実行委員を中心に決めたスローガン「きれいな音色で 心をつなげて 楽しくトライ!」を胸に、練習も本番も頑張りました。リコーダーを代表で吹く子が演奏している間に、次の出番のある子供たちが素早く移動することも頑張りました。1、3組の「ミッキーマウスマーチ」や2、4組の「パフ」では、初めて習ったリコーダーをはじめ、いろいろな楽器を使い、音色を聴き合いながら、心をつなげて演奏しました。学年全体で歌った「友だち」は、強弱に気を付け、心をつなげて楽しく歌いました。

4年生は、実行委員を中心に、学年全員で考えた「楽しむ(自分が)・協力(友達と)・成長(お家の人に)」をスローガンに掲げ、意欲的に練習を進めてきました。1、2組の「スーパーカリフラジリスティックエクスペアリドーシャス」では、速いテンポでリズムののって合奏しました。3、4組の「鉄わんアトム」では、みんなの楽器の音をよく聴いて合奏しました。「いつだって!」では、歌詞を丁寧に歌い、きれいな声を響かせることができました。

5年生は、合奏「アフリカン シンフォニー」と合唱「マイ バラード」を発表しました。学年のスローガン「心に残る STEP UP! ~だれもが こえられないメロディへ~」を合言葉に、朝や休み時間にも自主的に練習を重ね、アフリカのサバンナの風景を連想させる、リズムカルで迫力のある演奏をすることができました。また、合唱では、歌詞の意味を考え、発声や音程にも気を付けました。「一致団結」の大切さについて、野外活動で学んだばかりの5年生らしく、全員の心が一つになった歌声を体育館に響かせることができました。

6年生は、みんなで話し合っただけで決めた「楽しく思い出に残る、今までで1番の音楽集会にしよう」をスローガンに、頑張りました。合奏「Paradise Has No Border」では、テンポよく、リズムにのりながら、それぞれの楽器の良さを生かして演奏することができました。また、歌詞をイメージしながら思いをもって「Wish~夢を信じて」を歌いました。高音と低音のパートのハーモニーが響き合い、美しい音色になりました。全員の心が一つになった合奏、合唱でした。

どの学年も、指揮者をよく見て、周りの音をよく聴き、みんなの気持ちをぴったりと合わせる姿が見られました。にこにこ音楽集会を通して、子供たちが自分や友達のよさを見付け、自分に自信をもち、次の活動につなげていけたらと思います。

音楽主任 門名 智佳子

